

# 第30回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 フライングディスク大会

兼 第22回全国障害者スポーツ大会選考会

## 実施要項

### 1 目的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

### 2 主催

宮城県／仙台市／一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会／一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

### 3 共催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会／社会福祉法人仙台市障害者福祉協会／宮城県知的障害者福祉協会  
一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会／仙台市知的障害者関係団体連絡協議会  
みやぎ精神障害者スポーツ推進協議会／NPO 法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会

### 4 主管

みやぎ障害者フライングディスク協会

### 5 協力

公益社団法人宮城県柔道整復師会／東北福祉大学／仙台大学／東北工業大学／仙台白百合女子大学  
仙台保健福祉専門学校／宮城県障害者スポーツ指導者協議会／仙台市障害者スポーツ指導者協議会

### 6 大会期日

2022年5月29日(日) 8:30～受付

### 7 競技会場

シェルコムせんだい 仙台市泉区野村字新桂島前48 TEL:022-218-5656

### 8 出場資格

- (1) 宮城県内に現住所を有する**2022年4月1日現在、満12歳以上の者**で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。もしくは、その取得の対象に準ずる障害のある者及び大会主催者が認めた者。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。
- (2) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者。
- (3) 他の選考会（陸上・水泳・卓球・アーチェリー・ボウリング・ボッチャ・団体競技北海道・東北ブロック予選）にエントリーしたものは、本大会へ出場できない。

### 9 競技種目

競技は「アキュラシー競技」のディスリート・ファイブ、ディスリート・セブンと「ディスタンス競技」とする。

### 10 競技規則

「全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技規則」の他、本大会要項及び申し合わせ事項による。

### 11 競技方法

- (1) アキュラシーは、全障害・男女同一区分で実施する。
- (2) ディスタンスは、全障害を座位・立位に分け、男女別に実施する。

### 12 表彰

各組ごとに1位から3位までに入賞したものにメダルを授与する。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため表彰は実施せず、メダルは後日送付する。

### 1.3 出場制限

- (1) 「アキュラシー」と「ディスタンス」の2種目に申し込むことができる。
- (2) 「アキュラシー」は、「ディスリート5・ディスリート7」のどちらかを選択して申し込むこと。両方にチェックがされていた場合、「ディスリート5」のみの出場とする。
- (3) アキュラシーは、5m以上投げられない者は、申し込むことができない。 

### 1.4 申込方法

出場申込票に種目・区分等の必要事項を記入の上、下記申込先に2022年4月20日(水)までに郵送又はFAXにて申し込むこと。【**必着**】

なお、申込み締切り後のエントリー及び種目変更は、一切受け付けないので注意すること。

【申し込み先】

<p>【 身体の一部 】</p> <p><b>仙台市障害者スポーツ協会</b></p> <p>〒983-0039 仙台市宮城野区新田東4-1-1 FAX：022-236-8691</p>	<p>【 知的・精神の一部 】</p> <p><b>宮城県障害者スポーツ協会</b></p> <p>〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2 FAX：022-257-1062</p>
---	---

### 1.5 組み合わせ・競技日程

競技の組み合わせは、主催者において行う。競技日程は、エントリー確認の資料の送付時に提示する。

### 1.6 ナンバーカード

ナンバーカードは、主催者が用意・配布する。

### 1.7 新型コロナウイルス感染症への対策について

行政および各競技団体等が示す新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン等を基に大会を運営する。大会参加予定の選手・関係者においても、下記の事項を順守し、感染防止に努めること。

- (1) 来場する者全員（選手、介助者等）が、参加2週間前から体温や体調をチェックし、体調チェックシートに記入のうえ提出すること。
- (2) 受付時、検温及び体調チェックシートにより体調の確認を行うので、担当者の指示に従うこと。
- (3) 体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- (4) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- (5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- (6) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- (7) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- (8) 開会式および閉会式、表彰式は実施しない。競技が終了した選手から解散となる。
- (9) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、大会開催前又は開催中に政府・自治体等から各種要請が発出された場合は、主催及び関係者で協議のうえ、大会日程の変更又は中止等を決定する。
- (10) 各大会は無観客で実施する。
- (11) 選手控所等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は2席以上空けて着席すること。

### 1.8 健康・安全管理

- (1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- (2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

## 19 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

## 20 その他

- (1) 大会当日の昼食等は、各自で用意すること。
- (2) 練習に使用する用具（ディスク等 ウォーミングアップで使用する用具等）については各自で用意すること。
- (3) 大会に関する情報は、仙台市障害者スポーツ協会の公式ホームページ (<https://www.sendai-dsa.jp/>) に掲載するので、各参加者は適時確認すること。



## 21 全国大会派遣選手の選考

- (1) 出場した選手の記録（精神障害の部を除く）は、全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（栃木県）により指定された出場競技・選手数に基づき最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2022年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

＜ 第22回全国障害者スポーツ大会：2022年10月29日～31日 於：栃木県 ＞

- (2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

## ≪第30回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 フライングディスク大会 障害区分表≫

◇区分無し ◆男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由	◇	◇	◆	◆
視覚障害				
聴覚障害				
知的障害				
内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害）				
精神障害				